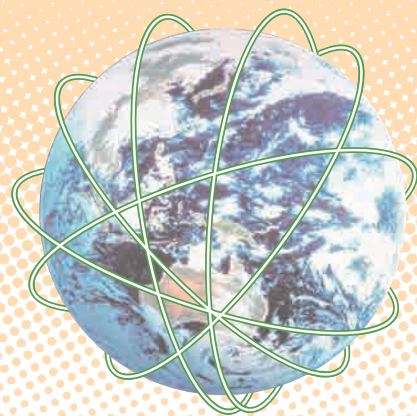


ワークショップ21世紀の生物多様性研究(通算第13回) 生物多様性データの利用と 新分野への展開



2018年**12**月**8**日(土)
13:00~16:30

国立科学博物館
上野本館 日本館講堂(2F)

参加費：通常入館料(一般・大学生620円。高校生以下および65歳以上は無料)が必要です。

- 開会あいさつ
～GBIF・S-Netの最新動向 細矢 剛
- 生物多様性情報の標準化に関する
国際会議TDWG最新情報 仲里 猛留
- 日本の古生物標本データベースと
GBIF・S-Net 伊藤 泰弘
- 考古学資料を生物多様性情報資源として
考える 江田 真毅
- 現在を生きる生物の過去は
博物館に実在する 齋藤 めぐみ
- 総合討論・質問
- 閉会あいさつ 細矢 剛



生物多様性データの利用と新分野への展開

日時 2018年12月8日(土) 13:00～16:30

会場 国立科学博物館 上野本館 日本館講堂(2F)

参加費 通常入館料(一般・大学生620円。高校生以下
および65歳以上は無料)が必要です。

主催 国立科学博物館/東京大学大学院総合文化研究科

共催 国立遺伝学研究所

連絡先 s-net_info@kahaku.go.jp

ワークショップの趣旨

生物多様性情報の世界での進歩はめざましく、毎年様々な進展があります。しかし、世界的な潮流として、さまざまなデータを収集・標準化して再利用することによって知の拡大再生産につなげようという方向は一致しています。そして、その方法の一つに「連携」があります。異なる分野と連携を進めることによって、扱うデータに幅をもたせ、利用範囲を広げようとする試みです。先にコペンハーゲンで行われた生物多様性情報に関する国際会議では、生物多様性情報関係のプロジェクトやイニシアチブと連携が話し合われ、GBIF(地球規模生物多様性情報機構)が提案者の一つとなって、連携を模索することが合意されました。一方、日本産標本の国内利用を目指したS-Net(サイエンスミュージアムネット)でも、システム改良が図られ、インターフェイスが大幅に改良されると同時に、いままでに扱えなかった化石データも扱えるようになりました。今回のGBIFワークショップでは、このような新展開に関係した話題を集めてみました。

プログラム

時間	演題	講演者(敬称略)	所属
13:00～13:30	開会あいさつ ～GBIF・S-Netの最新動向	細矢 剛	国立科学博物館
13:30～14:00	生物多様性情報の標準化に関する国際会議 TDWG 最新情報	仲里 猛留	情報・システム研究機構ライフサイエンス 統合データベースセンター
14:00～14:30	休憩		
14:30～15:00	日本の古生物標本データベースとGBIF・S-Net	伊藤 泰弘	九州大学総合研究博物館
15:00～15:30	考古学資料を生物多様性情報資源として考える	江田 真毅	北海道大学総合博物館
15:30～16:00	現在を生きる生物の過去は博物館に実在する	齋藤 めぐみ	国立科学博物館
16:00～16:20	総合討論・質問		
16:20～16:30	閉会あいさつ	細矢 剛	国立科学博物館

GBIF 地球規模生物多様性情報機構(<http://www.gbif.org>) S-Net サイエンスミュージアムネット(<http://science-net.kahaku.go.jp>)
 TDWG Biodiversity Information Standards (<http://www.tdwg.org>)

GBIF日本ノード(JBIF)の活動

GBIF(地球規模生物多様性情報機構、<http://www.gbif.org>)はインターネットを介して、世界の生物多様性情報を共有し、誰でも自由に利用できる仕組みをつくっています。その日本ノード(JBIF、<http://www.gbif.jp/v2>)は協力機関から収集された生物多様性情報データを国内およびGBIFで公開し、国内での普及活動を行っています。日本での活動は、日本ノード運営委員会によって運営され、主にナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)によって支えられています。日本からは国立遺伝学研究所および国立科学博物館からGBIFにデータが提供されています。

国立科学博物館では、全国の博物館・研究機関から標本情報の提供を受け、GBIFおよびS-Net(サイエンスミュージアムネット、<http://science-net.kahaku.go.jp>)を通じて国内外に発信しています。S-Netは国立科学博物館が運営する情報ポータルサイトで、国内の自然史標本情報や自然史系の研究員・学芸員の情報を検索できます。

国立遺伝学研究所では、東京大学伊藤元己教授の研究室と協力し、大学や各種研究機関・プロジェクト研究の成果・印刷物などに公表されている既存の生物多様性情報を整備することで、GBIFに情報を公開しています。

お申し込み

ホームページ[下記URLまたはQRコード参照]、あるいは科博ホームページの「イベントカレンダー」から「12/8」を選ぶからお申し込みください(定員になり次第締め切り)。

<http://www.kahaku.go.jp/event/all.php?date=20181208>



会場のご案内

国立科学博物館 上野本館 日本館講堂(2F)
<http://www.kahaku.go.jp/userguide/access/index.html>



JR「上野」駅公園口から徒歩5分
 東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」駅から徒歩10分
 京成線「京成上野」駅から徒歩10分